

- 3 令和7年 年頭の辞
「巳」の年 生き生きと地域とともに
- 4 居・色・自由 第26回 移住定住のページ
大槌で、星を見る。
- 6 受賞された皆さん おめでとうございます
- 7 TOPIC
大槌の歴史「大槌氏をめぐるナゾ」
30年を経て たどり着く新たな町史
- 8 おおつちNEWS ～町の話～
- 9 #おしゃっち 大槌町文化交流センターのページ
- 10 すくすく広場 子育て情報のページ
- 11 楽笑幸齢者になろう！ おらほの町の地域包括支援センター
気をつけましょう！ 消費者トラブル！
- 12 大槌町教育委員会だより 檜の梢から
- 14 暮らしの安心だより
大槌町津波避難訓練に1096人が参加 「備える」ことの大切さを学ぶ
- 16 令和6年度 前期の財政状況を公表します
- 18 おおつちインフォメーション
- 24 〇〇〇〇の協Do！「おもっせえ」活動を紹介！やっべし協働！

今月の表紙

大槌湾に朝日が昇る。

朝日を浴びて、きらめく大槌湾。
1日の始まりを感じながら、今日も
船は海に出る。年の初めを告げる初
日の出は、本年も町を明るく照らす
でしょう。



令和7年 年頭の辞

「巳」の年 生き生きと地域とともに

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、ご健勝にて清々しい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年1月1日に北陸地方を中心に大きな被害をもたらした能登半島地震および9月の集中豪雨により、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げます。いつ発生するか分からない災害への十分な備えと、的確な災害対応の重要性を改めて痛感したところであり、町民の生命と財産を守るための取り組みを着実に進めてまいります。

さて、日本経済は高水準の賃上げやインバウンド需要の回復などにより経済活動の活性化が見られる一方、世界情勢の先行きの不透明感は継続しており、エネルギー資源や原料価格の高騰の影響は大きく、地域経済との格差を指摘する声が多く聞かれました。当町においても、主要魚種の不漁や担い手不足など、地域経済を取り巻く環境は未だ厳しい状況が続いております。

このような中、大槌町独自の「にぎわい」を創出し、地場産業の拡大に向けた取り組みとして、関係機関の協力のもと海業振興計画を策定しました。この計画は、サーモン養殖推進事業のほか、藻場再生事業、ウニ畜養事業、ブルーツーリズム、海洋教育プログラムなど、地域の「なりわい」や「にぎわい」を創出し、これまで地域を支えてきた水産業の連携を強め、互いの価値を高め合うことで、水産物消費の増進や地域の魅力向上、関係人口の拡大を目指しております。

また、地域の課題解決に向けた住民主体の取り組みを支援するため、行政と地域とのつなぎ役となる集落支援員をモデル地域に配置し、持続可能な地域自治運営に向けた伴走支援体制を、より一層強化してまいります。

「大槌町鎮魂の森」が本年7月に完成予定であり、昨年7月には、愛称を「あえる」と決定いたしました。東日本大震災津波で犠牲となった方々への追悼・鎮魂の場、震災から復興への歩みの継承の場、次世代を担う人たちが慣れ親しむ場となるよう整備を進めてまいります。

さて、今年の干支は「巳」であります。巳の字は蛇を表しており、蛇は脱皮を繰り返して成長することから「復活と再生」と「強い生命力」を象徴するといわれています。古い皮を脱ぎ捨て、新たな一歩を踏み出し、人口減少や少子高齢化という厳しい課題に立ち向かい、持続可能な町を実現しなければなりません。そのためには、町民の皆様と一緒に、町の最上位計画である「第9次大槌町総合計画（後期基本計画）」を着実に実行し、誰もが「この町に住みたい、住み続けたい」と思えるまちづくりに取り組みを進めてまいります。

結びに、本年の皆様にとって、実り多き素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和7年元旦 大槌町長

平野公三